

北海道で培われた自然エネルギー利用技術の歴史 ～雪利用と地中熱～

現在、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す動きが現実的になっている。カーボンニュートラルへのアプローチには様々な方法があるが、電気や熱など我々の生活に今や欠かせないエネルギーを消費する際に排出されるCO₂排出量を低減させることがアプローチのベースとなる。低減させるためには、「エネルギー消費量を減らしCO₂発生量を低減させる（省エネルギー）」と「エネルギー使用量当たりの二酸化炭素排出量を減らす。（CO₂排出原単位の低減）」の両立が必要となる。CO₂排出量低減への重要な取り組みに「再生可能エネルギー熱の活用」があり、各所で様々な研修・開発がなされている。

北海道においても、地域資源である「雪氷熱」や、寒冷地における「地中熱利用」等について様々な研究・開発が積極的になされてきている。

本講演会では、このような研究・開発の最前線でご活躍の講師をお迎えし、最新事例を紹介していただき、地域のポテンシャルを活かす建築設備デザインについて考える機会とする。

主催 公益社団法人 空気調和・衛生工学会北海道支部

後援 (一社)日本建築学会北海道支部、(一社)建築設備技術者協会北海道支部、
(一社)電気設備学会北海道支部

日時 令和4年1月13日(木) 14時00分～17時15分

会場 ZoomによるWeb配信

参加費 1,000円(税込)「ただし、学生は無料」

SHASE-CPD 1時間1ポイント(ただし、休憩時間は除く)

◆プログラム (14:00～17:15)

1. 開会挨拶 14:00～14:05 小原 伸哉 教授
(空気調和・衛生工学会北海道支部 支部長／北見工業大学)
2. 講演Ⅰ 14:05- 15:35 本間 弘達 氏 ((株)雪屋媚山商店)
題目：雪冷熱利用について
3. 講演Ⅱ 15:35～17:10 長野 克則 教授 (北海道大学大学院工学研究院)
題目：地中熱利用普及拡大のための研究開発最前線
4. 閉会挨拶 17:10～17:15 宮本 一英 氏
(空気調和・衛生工学会北海道支部 副支部長／(株)竹中工務店)

◆申込方法：E-mailにて、氏名、勤務先、住所、電話番号およびメールアドレスを記入の上、
「北海道支部 地区講演会の参加申込」と標記し、下記の申込み先までお申し込みください。
申込みメール発信日以降、2022(令和4)年1月7日(金)までに下記振込先に参加費のお
振込み(学生を除く)をお願いいたします。

申込み先：北海道大学大学院工学研究院 若林 斉 E-mail：wakabayashi@eng.hokudai.ac.jp

申込締切：2022(令和4)年1月7日(金)

振込先：北海道銀行 札幌駅前支店 普通預金 1568530 (社)空気調和・衛生工学会

◆問合せ先：空気調和・衛生工学会 北海道支部 E-mail：shase.hokkaidou@gmail.com